

Central Weekly Market Report

2025年12月5日

セントラル短資株式会社 総合企画部

今週（12月1日から12月5日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、前週に引き続き調達ニーズが強く、出合いの水準は0.475～0.478%が中心となつたが、一部で試し取りやその他業態からの調達により、付利金利を上回る水準での調達も少額見られた。加重平均レートは、1日(月)～4日(木)まで0.477～0.478%で推移し、5日も概ね同水準での取引が中心となつた。

ターム物に関しては、1日(月)の植田総裁の発言を受け、12月会合における利上げ観測が一段と高まつたことで、日を追うごとにレートが上昇し、1M物で0.55～0.70%近辺、2M物0.55～0.75%近辺、3M物で0.60～0.83%近辺で出合いが散見された。

日銀当座預金残高は、前週末に487兆円程度となつてはいたが、1日(月)の2年債発行、2日(火)の財政資金の揚げ、3日(水)の税、保険料の揚げ等により471兆円弱まで大幅に減少し、その後は概ね横這い圏での推移となつた。

●債券レポ市場

今週のGC T/N物の出合い水準は、概ね0.50～0.51%程度での推移となつた。
SCは、ロールオーバーを中心に幅広い銘柄で取引が見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、全ゾーンで軟調に推移した。
5日(金)に実施された3M物入札は弱い結果となり、結果発表後のセカンダリーでは特段の出合いが見られなかつた。

●CP市場

今週のCP市場は、石油、卸売り、小売りなどの業態から大型発行が見られた。
市場残高について、冬季賞与や税金の支払いなどに伴う資金調達ニーズから、比較的高水準な状態が継続するなか、3日(水)には、一時的に26兆円台を回復する展開となつた。
発行レートについては、概ね0.5%以上で推移しており、銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきが見られた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
12/1 (月)	49,303.28	1.875	155.80	0.477	0.501	4,826,500
12/2 (火)	49,303.45	1.855	155.68	0.477	0.501	4,786,500
12/3 (水)	49,864.68	1.890	155.80	0.478	0.501	4,707,500
12/4 (木)	51,028.42	1.935	155.23	0.477	0.501	4,707,500
12/5 (金)	50,491.87	1.949	155.06	0.477	0.502	4,711,000

来週（12月8日から12月12日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー（※米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。）

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
12/8 (月)	10月の毎月勤労統計調査速報(厚生労働省 8:30) 7-9月期のGDP 2次速報(内閣府 8:50) 10月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50) 11月の景気ウォッチャー調査(内閣府)		
12/9 (火)	11月のマネーストック(日銀 8:50)	TDB 6M 5Y 12/10発行 12/10発行 35,000億円 24,000億円	米FOMC(1日目)
12/10 (水)	11月の企業物価指数(日銀 8:50)		米FOMC(2日目) FRB 米経済見通し発表 11月の米財政収支
12/11 (木)	10-12月期法人企業景気予測調査季報 (内閣府・財務省共管8:50)	20Y 12/12発行 8,000億円	I社債+借入 12/22借入 7,613億円 9月の米貿易収支 9月米卸売売上高
12/12 (金)		TDB 3M 12/15発行 43,000億円	

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
12/8 (月) 日銀予想	▲ 1,000	2,000	1,000	社債買入 国債補完	▲ 500 500		0	1,000	TDB3M発行▲43,000償還43,000
12/9 (火) 弊社予想	▲ 1,000	▲ 1,000	▲ 2,000				0	▲ 2,000	
12/10 (水) 弊社予想	▲ 1,000	▲ 24,000	▲ 25,000	共通担保	▲ 8,000		▲ 8,000	▲ 33,000	TDB6M発行▲35,000償還35,000 5Y発行▲24,000
12/11 (木) 弊社予想	▲ 2,000	▲ 1,000	▲ 3,000				0	▲ 3,000	
12/12 (金) 弊社予想	▲ 3,000	▲ 3,000	▲ 6,000				0	▲ 6,000	源泉税掲げ、社会保障費の払い 20Y発行▲8,000 交付税借入▲13,000期日13,000
週間合計	▲ 8,000	▲ 27,000	▲ 35,000	—	▲ 8,000	0	▲ 8,000	▲ 43,000	

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズの強い展開が見込まれることから、レートは0.477%近辺での推移が予想される。債券レポ GC T/N物は、0.45~0.51%前後での推移が予想される。短国市場は、9日(火)に6M物、12日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場では、特段大きなイベントはないものの、決定会合を控えるなか発行量や金利動向が注目される。

主要なイベントは、国内では、8日(月)に10月の毎月勤労統計調査速報、7-9月期のGDP 2次速報、10日(水)に11月の企業物価指数、11日(木)に10-12月期法人企業景気予測調査季報、海外では、9日(火)~10日(水)に米FOMC、FRB 米経済見通し発表、11日(木)に9月の米貿易収支、9月米卸売売上高などの公表が予定されている。

(※尚、米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。)

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何かの取引を誘引すること目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申しあげます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くことがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。